

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹色DAYS / MAX

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3密を避けるためグループごとに部屋を分けて活動を行っている。	ソーシャルディスタンスがとれるよう机、椅子の配置や形状を今後検討する。
	2 職員の配置数は適切であるか	兼務職員が多いのでタイムツリーを使って工夫しながらやっている。	適切ではあるが、利用者が定員数を超えると不便を感じる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	現状は必要性がないが、状況に応じてすぐに対応できる体制をとっている。	今後の施設改修の際、スロープ等の設置を進めていきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日の打合せの中で、常に意識して全職員で行っている。	高校生主体の放デイのため前例や体験が乏しいので、積極的に研修等でスキルを向上していきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	アンケート調査を含め、毎日の療育の中で改善できるところは、即対応を心掛けている。	アンケートだけでは、保護者の真意が分からない部分もあり、日々のコミュニケーションを大事にし、そこから意向をくみ取っていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公表し、会報で周知している。	自己評価に対する保護者の関心は高くはないので、日々の面談等でも紹介する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	サーバント内各事業所を順番に実施している。	外部評価を真摯に受け止め、改善に全力を挙げて取り組む。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	毎年、一人複数回の研修に参加している。	職務の多忙化により、外部研修の機会が取れないこともあり、OJTにより、資質の向上を図っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用前の体験時、面談によるアセスメントを行っている。連携機関からの情報との照らし合わせや職員全員で協議しながら計画を作成している。	保護者の都合や多忙化により、面談によるアセスメントが行えないので、定期的な電話連絡を行い、その中で行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールを参考に本事業所に適したようにカスタマイズしている。	多人数がいる中で、タイムリーなツールの活用ができない時があるので、事前の研修等により、即時対応できるようスキルアップしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員全体で創意工夫してる。	思った以上に効果がないプログラムもあるので、内容の精選に慎重に取り組む。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎日の打ち合わせの中で、出来る限りPDCAを行い実態に合った興味関心が持てる活動を計画している。	プログラム同士の繋がりや系統化がなされていないので、チャート式にまとめていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	本人、保護者のニーズに合わせて、時季や学校行事にリンクした課題を設定している。	長期休暇において、どうしても子どもたちはだれる傾向にあり、一日のメリハリや休息を適度に配置していきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもたちの興味関心や意欲が湧くような身辺自立、作業、SSTなどを計画している。	個別活動しかできない子どもにどう集団活動に関わらしていけばよいのかタイミングが図りづらい。どうしたらよいかは今後の検討課題とする。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	前日の支援終了後に、その日の反省と翌日の予定を確認している。	今後も現在のまま継続していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	共通理解、情報の共有、同一支援を徹底している。	今後も現在のまま継続していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	全職員が、同一支援ができるように記録をとることに気をつけている。	同一支援者ばかりが記録を取ると視点が偏ってしまうので、出来る限り毎日違う支援者が記録を取るよう心掛けている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に面会で行う以外にも必要があれば電話等でモニタリングを行い、計画を見直している。	相談支援専門員のモニタリングがあり、支援利用計画が出されるが、参考にならない時がある。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインの基本活動が満遍なく行えるよう配慮している。	どう組み合わせていくのが最適かを、試行錯誤している。今後もベストになるよう精進していきたい。	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会を行う機会が少ないが、行う際には児童発達管理者又は管理者が出席している。	サービス担当者会議が開かれることはめったにない。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	常に密接した関係が構築できるよう適宜、相互連絡を行っている。	学校側が情報提供に積極的でない場合があり、時間調整等に苦慮することがある。引き続き学校側をお願いをしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	重大な医療ケアを必要とする子どもはいないが、保護者との連携を密にして、緊急対応できるよう準備をしている。	他施設に事例があれば共有していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	DAYSの前の施設と情報を共有している。	利用者が中学生や高校生のため必要とすることはないが、必要があれば連絡調整する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	サーバント内の事例を共有している。	今後、必要に応じて情報提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	ケース会議を行うなど常に連携し、助言を受けている。	今後、研修が開催されれば参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	他の通信制高校と合同で講習会に参加している。地域の文化施設の行事に参加を予定している。	今年度は新型コロナ感染予防のため接触を控えているが、新しい生活様式で今後検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	児童部会に参加予定である。	積極的に参加できる体制を整えていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳、電話、送迎時の会話など常に共通理解を得るよう行っている。	療育ではなくレスパイトを目的とした保護者もおり、支援方法のギャップがある。今後も子どもの発達について、何度も説明をし理解を得ていきたい。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	面談や電話相談時に、一人一人に応じた対応を提案している。	保護者の時間的制約もあり、簡単な説明となっている。これからも事あるごとに声かけをしていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時や日々の連絡帳、面談、電話等で説明を行っている。	父母がいる場合は、両親に納得いただけるよう説明をしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	迅速に対応できるよう職員間で情報共有している。	どうしても1対1での助言が多くなり、適切であったかの検証ができていない。アフターフォローには全職員で対応していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会はないが、夏まつり等で保護者同士の交流ができるよう配慮している。	夏まつり等でDAYSから積極的に交流を促していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	会社全体で対応できるよう体制を整えている。	過剰な要求やクレームの保護者には、対応に苦慮している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月のお便り、月間予定表またブログやLINEによる情報発信等を行っている。	情報発信を行っていることを保護者全員に周知されていないかもしれない。面談や送迎時にも周知を常時行っていきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	紙媒体、デジタル媒体について、セキュリティと研修を行っている。	管理者だけでなく全職員が強い危機感を持って臨みたい。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	わかりやすく、ゆっくり、優しい言葉で情報を伝えている。	外国籍の保護者や子どもは日本語の理解が弱く、情報が上手く伝わらないことがある。通訳や代筆の援助が出来るとう良い。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の方と畑作業を一緒に行っている。また、夏まつりなどのイベントを開催している。	新型コロナウイルスのため自粛している。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者には契約時等に説明をし、職員には文書を配布し周知徹底している。	新型コロナでは、国の対応が後手後手になっていた。何を守るべきかしっかりした指針を保護者に提示したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	火災、地震の避難訓練を活動として定期的に行っている。	可児市周辺の市町から来ている子もあり、非常災害時の保護者への連絡、引き渡しなどが心配なところもある。保護者と連絡方法、避難について細かく相談していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	防犯カメラも設置されており、会社主催による研修会も開催されている。	利用者の家庭内での虐待を見逃さないように、常にすべての子どもたちの言動や表情に注意していきたい。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束をしない、させない、見過ごさないを徹底してる。	キレて暴力的になる子、自傷行為をする子の対応を事前に全職員でシュミレーションしていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事を提供する場合は、細心の注意を払っている。	アナフィラキシー症状が発生した場合の迅速な対応のシュミレーションを行っていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	報告書を作成し、全職員で共有している。	ヒヤリハットの見過ごしや放置を許さない姿勢を管理者が見せていきたい。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年9月

所名 放課後等デイサービス虹色DAYS / MAX

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	9	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	9	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	9	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	9	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	9	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	9	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	0	9	100%	0%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	9	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	9	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	9	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	9	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	9	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	9	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	9	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	9	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	9	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	9	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	9	100%	0%
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	9	0	9	100%	0%	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	9	89%	11%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	0	9	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	0	9	100%	0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	9	89%	11%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	0	9	100%	0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	9	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	0	9	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9	0	9	100%	0%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	9	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	9	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2	9	78%	22%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	9	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	9	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	9	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	9	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	9	100%	0%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	9	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	9	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	9	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	9	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	9	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	9	100%	0%